お互いさまだより 第３２号

「お互いさま」たより

平成３０年３月２５日発行
発行責任者　理事長　恩田初男
〒 374-0057
群馬県館林市北成島町１８２９－５
ＴＥＬ．０２７６（７０）１３２６
ＦＡＸ．０２７６（７０）１３２７
メール npootagaisama@rhythm.ocn.ne.jp
ホームページ http://otagaisamaegao.net/

理念

「人とのつながりを大切にした福祉活動で、誰もが
笑顔で心豊かに生活できる地域社会を目指します。」

指針

１．地域の人から頼られる介護福祉サービスを提供するために成長する。
２．地域の人との交流を深め当法人の専門性や資源を地域に提供する。
３．地域の課題やニーズを発見し、地域住民・関係者と連携しながら不足する福祉活動を展開する。

～～～～～～～～～～Ｈ２９年度取り組みの重点～～～～～～～～～～～～

① 人材育成計画の実施　研修計画に基づく研修を実施する。
② トライアル評価の実施　毎年実施する個人評価の初年度につき評価に慣れる。
③ 多くの人にお互いさまネットワークの活動を知らせる工夫と実施。

平成二十九年度をふりかえって　法人目標　成果と今後の展望

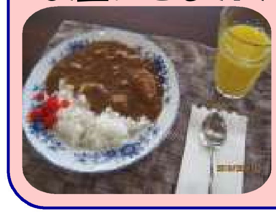
ようやく春めいた日が増えてきたように思われます。日頃より、お互いさまネットワークの活動にご協力、ご理解をありがとうございます。法人目標③にあるように多くの人にお互いさまネットワークの活動を知っていただく一助にと年度当初にオレンジ色のブルゾンを作成し、職員や支え合い活動中の協力者会員に着用してもらうこととしました。介護職員はお年寄りと一緒に外出したり買い物に行ったりしますが、オレンジ色ブルゾンを見かけたら気楽に声をかけていただければ幸いです。

グループホーム喜楽・デイサービス喜楽・多機能ケアの喜楽をはじめとする介護保険事業ですが、二十九年度は働きやすい職場づくりのために、さまざまな取り組みを行いました。公益財団法人介護労働安定センターが作成した「チェック&ドゥー25」を使用し、当法人や事業所の情報共有・労務管理・人材育成など25項目を全職員でチェックしたところです。この結果に基づき、法人や事業所の雇用改善のための計画を作成中です。当法人のホームページに近いうちに公表いたします。

介護保険を取り巻く環境は人手不足・他の産業との賃金格差など明るい兆しは見えていませんが、これからも今以上に職員が利用者のために生き生きと仕事ができる会社風土を築きたいと思います。

NPO法人　お互いさまネットワーク理事長　恩田　初男

お互いさまカフェだんだんは、平成２９年１２月より２年目に入りました。



さらに地域になくてはならない「人と情報の交流拠点」として、利用しやすいカフェになるよう工夫します。４月からは、昼食メニューにカレーライスを３００円で提供いたします。どうぞ、ご利用ください。イベントの提案もお待ちしています。

お手玉づくりは、毎週水曜日！

ケアプラン介護相談の喜楽

介護度ってどうやってきまるの？

介護保険サービスを利用したい時は、介護保険申請をします。高齢者あんしん相談センターでも申請の手続きを進めてくれますが、当方介護相談の喜楽でもできます。

申請書を提出すると、訪問調査と主治医の意見書の手配を市役所が行います。

＜訪問調査＞って？

訪問調査員がご自宅に伺い、ご本人・ご家族から聞き取り調査をします。身体や手足の不自由や物忘れの状況など細かく質問してくるので、何が一番困っていて大変なのか伝えてください。ご本人が居るところでは言いにくいことも調査員は聴いてくれます。ありのままを伝えてください。

＜主治医の意見書＞

かかりつけの先生から、病気のことや何のサービスが必要なのかについて意見を聴きいて意見書を作成してもらいます。

＜決定＞

二つの資料を合わせて、医師、看護師、介護福祉士等さまざまなジャンルのメンバーが会議をひらき、介護度が決定します。介護保険の介護度は介護に要する時間によって決まります。要支援は１と２．要介護は１～５まで５段階になっています。

＜ケアマネージャの仕事＞

介護度に合わせてサービスを調整する役目がケアマネージャーです。ケアマネは介護保険の中心核だと思っています。不安に思うことがありましたら相談してください。ご本人・ご家族の意向に合った支援・介護の仕方を一緒に考えながら自宅での生活を支えていきます。

事業所対抗通報消火競技大会

お互いさまネットワークを代表して
おふたりが奮闘してきました。
次回は優勝をめざそうね！

訪問介護の喜楽

訪問業務と相談業務
地元での生活を支える
二本の柱！

おうちで生活されている利用者さんの生活支援と身体介護を行いながら「笑顔」「安心」「生きる力」をお届けしようと日々奮闘しております。

現在五十名の利用者さんが契約されています。

私たちヘルパーは、訪問の仕事を行うに当たり、月一回の会議と年四回の勉強会を行っています。

支え合い活動　0276-74-8286

支え合い活動は、移送（移動）サービスや家事援助・ その他さまざまなサービスを行う会員制の活動です。

３月５日ふれあいの居場所「よってこ松沼」にて、協力会員懇談会を開催しました。当日は事務局を含む１６名が参加し、恩田理事長より講話を頂きました。パワーポイントを用いて“地域包括ケアと支え合い活動”と題し学習しました。初めてよってこ松沼に来たという会員も４名おりましたが、「よってこ松沼」の常連さんたちと一緒に名物ランチを堪能したり、歌声喫茶の体験もしたので、今後、利用者さん方にご紹介しやすくなると思います。参加した皆さんが大満足したランチメニューは、見た目も味もバランスよく工夫が凝らされ大好評でした。スタッフの皆さんお世話様でした。

今後はさらに支え合い活動や
「よってこ松沼」のような介護保険外の活動は期待されるところですね。

祝 よってこ松沼　５周年記念事業

地域交流フェスティバル計画中！

よってこ松沼は、昨年１２月で満５年が経過し６年目に入りました。そこで、今年の７月２２日（夏休み最初の日曜日）に交流フェスティバルを行う事になりました。建物と駐車場全部を使って縁日のように賑やかな屋台村を計画しています。今後、実行委員会を作って詳細をつめていきます。

子どもたちも、働き盛りの世代もご隠居さんも、すべての世代が交流できるイベントになりますように・・成功を期して皆さん！アイディアをお寄せください。

～よってこ松沼イベント紹介～　曜日ごとに定着してきたイベントは、ボランティア講師のおかによるところです。金曜日の歌声喫茶は大好評です。いつの間にか大正琴の手ほどきを受ける自主講習会が始まったり、書に親しむ会が定例で行われたりしています。

今後は身体ほぐしのイベントを充実させることが課題ですが、さまざまな人との交流の中から講師になってくださる人材を求めていきます。写真は毎回の趣向が楽しみな講師による紙芝居の朗読です。

喜楽のくらし

外食はレクリエーションとして計画されていますが、今回は出前を取りました。
いつものダイニングルームも、出前にした事でちょっと違う雰囲気です。ＢＧＭを聴きながら和食を楽しまれました。

～　日々是好日　～

春に向け、畑の準備を始めました。
お年寄りと相談しながら予定を立て、少しずつ進めています。「最初に植えるのは　ジャガイモがいいかな」等の意見が出て、皆さん楽しみにされています。

ジャガイモの芽

喜楽Ⅱのくらし

～　日々是好日　～

平成３０年新年家族会は、２月１８日（日）に市内ジョイハウスで行われました。お料理はささやかなお弁当でしたが、ご家族に囲まれてお話のはずむ、楽しい会になりました。
ご協力に感謝申し上げます。

喜楽Ⅱでは、ふだんも月１回飲み会を企画しています。ノンアルコールでも宴会気分は盛り上がり、「さしつさされつ」「歌のひとつもご披露しましょうか？」と、笑顔がはじけます。これからも、楽しいことを探して日々好日・・・を目指します。

尾曳神社　初詣
今年もどうか　穏やかな年でありますように・・・

ボランティア訪問この１年

４月	ハーモニカ演奏と手品　小泉さん他	１０月	じぃじぃバンドコンサート　木賀さん
５月	みやび会　日本舞踊	１１月	片桐さん他　バンド演奏で歌う
６月	島崎敏夫さんサクスフォンと合唱	１２月	柿沼孝美さん板倉マジッククラブ
７月	パスティーシュカルテット　笛とピアノ	１月	マンドリンギタークラブすまいる
８月	中止	２月	小林さん他ハーモニカ演奏
９月	田沼京子さん　ピアノと歌	３月	日向野さん他ハーモニカ演奏

多機能ケアの喜楽

日々の暮らしの中に　笑顔がこぼれて・・・

多機能 de バレンタインデー！

２月１４日のバレンタインデーは、
女性利用者全員でチョコクッキーを作りました。生地をこねたり大きさをそろえて丸めたり、ワイワイ楽しく作りました。焼きあがったクッキーは３時のおやつにみんなで食べて「美味しいね」と大満足気分を満喫しました。さらに、男性利用者には袋に包んでプレゼント！
密かに恋が　生　ま　れ　た　か　も　！？

もも の木保育園 子育て支援センターへ 交　流　訪　問

２月２１日（水）は利用者さん数名が職員とともにももの木保育園子育て支援センターを訪問しました。
たくさんの赤ちゃんとお母さん達のふれあい遊びを見ながら何度も「可愛いねえ～」と微笑んでいました。
最後に赤ちゃん達と記念撮影もして、温かい気分につつまれ、喜んで帰ってきました。昨秋は、多機能ケアの喜楽の方に赤ちゃんたちが来てくれて交流しましたので今後も仲良く出来るといいなと思います。

デイサービスセンター　喜　楽

≪ 希望を叶える ≫

デイサービスセンター喜楽では、今年度の目標の一つとして「利用者一人一人に寄り添い希望を叶える」ことに力を入れてまいりました。ある利用者さんの希望は「お茶と和菓子が食べたい」ということでしたので、和菓子を手作りすることにしました。きれいな色と香りに包まれながら、みんなで取り組み、本格的な和菓子が出来上がりました。お抹茶と一緒におやつの時間に頂くと、
皆さん「美味しい　・・・」と笑顔があふれました。
「まるで売っているのと同じだね！」
わたしたちスタッフも、利用者さんの希望がかなえられてよかったです。

≪ いこいの場 ≫

北成島区が毎月第３水曜日に開催している「いこいの場」に行ってきました。デイサービスセンター喜楽は、ここに毎回参加させて頂くことにしています。
地域の方と交流しながらお手玉遊びをしたり、カラオケで歌って、お茶をして楽しんできました。参加された利用者さんは、自信がないと言われながらも上手にお手玉を楽しんで、とても「いきいき」とされていました。今後も地域の皆さんとのつながりを大切にしていきたいと思います。

お上手でしたよ！